9-3 ユカラ

「サクソモアイェプ」(2)

サクソモアイエプ退治(2)

語り:平賀さだも

かやのさん アナク アイスイエ コラン ノイネ クヤイヌ KAYANOSAN anak aysuye kor an noyne ku=yaynu 萱野さんが居眠りしているみたいに思ったよ。

(萱野:アイスイェ しない。アイスイェしたらわかるか、冗談に(?))

(萱野: aysuye しない。aysuye したらわかるか、冗談に (?))

(萱野:居眠りしていない。居眠りしたらわかるか、冗談に(?))

ヌプリケへ 巫力が強い者が

nupur h_ikehe

ウ インネ クスン たくさんなので

u inne kusun

アセイ…… エセレマク オロケ 背後を

asey... esermak orke

アトゥクスパ……

atukusupa...

アトゥスクシパレ 巫術で見通した

a=tusukuspare

ウキロクアワところ

u ki rok awa

easirana	
タパンペ レコロ tapanpe rekor	これが世に言う
カムイ コシマッ ネ kamuy kosmat ne	神の嫁であるである(から)
『ウママ ピト 'umama pito	『凡庸ならざるひと
ウコイキ クニ プ ukoyki kuni p	戦うべきものに
エペットゥラシパ プ epetturaspa p	匹敵するものが
ネイ タ オカイ ペ ney ta okay pe	どこにいて
サクサ ワ ウェン (?) sakusa wa wen(?)	悪臭で悪く(?)
アコイシトマ a=koisitoma	人が恐れる
ウキロケクニプ u ki rok kuni p	もの(である)
ウ アラウェン カムイ u arwen kamuy	極悪の神の
コタノロケへ kotan orkehe	村へ

それこそ

エアシラナ

a=iorura wa	連ね40 (
エアシナラ easinara	それこそ
カムイ カラ トゥミ kamuy kar tumi	神がおこした戦争
ウネプネクス u ne p ne kusu	であるために
トゥミ ユプケ コロ tumi yupke kor	戦いが激しい
ウ シラン コロカ u siran korka	様子であるが
ウ アイヌ ニシパ u aynu nispa	人間の長者(ポイヤウンペ)は
シネン ネ ヤクン sinen ne yakun	ひとりであるから
アオアッテノ aoatteno	
アコアプテ ナ』 a=koapte na'	危ぶまれるぞ』
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	ということを
トゥスエプシパ tusuepuspa	巫術でもって明らかにした。

運ばれて

アイオルラ ワ

タパンペ クス tapanpe kusu	そこで
キマテク クニ kimatek kuni	驚いて
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプイシルンクルが
イテケカラ ワ ^[1] i=tekekar wa	私たちを手で作って
イコオロスッケ ikoorsutke	励ますことは
エネ イタキ ene itak h_i	こうでした。
『エアシラナ 'easirana	『これはこれは
ウ アンクシケライ u ankuskeray	そのおかげで
アポウタリ a=poutari	私の息子たちが
チコルラカラ cikorurakar	私のところに運ばれた
アイエカラカラ ペ a=i=ekarkar pe	のは
カムイ ラメトク kamuy rametok	神なる勇者

u ne rok ana	(8) 3/20/2/2/9
アチテケカラ ワ ^[2] aci=tekekar wa	私がお前たちを作って
ラメトゥ オッ タ rametok or_ ta	お前たちはは勇者の中から
チテクヌムケレ citeknumkere	選び出された
エチエカラカラ ワ eci=ekarkar wa	ものだから
トゥミ イカ オパシ tumi ika opas	戦いの救援に行き
ロルンペ イカ オパシ rorunpe ika opas	戦争の救援に行きなさい。
エチイキ ヤクネ eci=iki yakne	そうして
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神なる人の
ウ タム テクサマ u tam teksama	刀の側で
ウ タモマレ u tamomare	刀を振るって
イコロパレ ヤン』 i=korpare yan'	ください』

であったのだから

ウネロクアナ

セコロ イイエ コロ sekor i=ye kor	と私たちに言って
イコロスッケ キ コロ ikorsutke ki kor	命じて
イアラキレ キ ワ i=arkire ki wa	私たちを来させたから
アラキアン シリ arki=an siri	私たちが(こうして)来たの
ネ ヒ タパン ナ。 ne hi tapan na.	ですよ。(だから)
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神なる人よ、
イキネイペカ ikineypeka	決して
トゥム アン ケウトゥム tumu an kewtum	憤慨する心を
イココロ クニ プ i=kokor kuni p	私たちに持つのでは
ソモ タパン ナ。 somo tapan na.	ありませんよ。
ルイノ モイモイケ	激しい動き

激しい働きを

ruyno moymoyke

ルイノ シモイェ

ruyno simoye

ukokusispa	
アキ ヤク エアシリ a=ki yak easir	私たちがしたら初めて
エアシラナ easirana	それこそ
ウ アラウェン カムイ u arwen kamuy	極悪の神
シノウェン カムイ sinowen kamuy	本当に悪い神は
サクサ トゥラ sakusa tura	悪臭とともに
アコマウヌクルパ プ a=komawnukupa p	恐ろしくて近寄れないもの
ウネロケアナ u ne rok ana	だから
タパン ロルンペ tapan rorunpe	この戦い
コタン コヤイラミウパン(?) kotan koyayramiupan(?)	XXX
コテクトゥミウパン(?) kotektumiupan(?)	XXX
ウ テクサマ u teksama…	

ともに

ウコクシシパ

e=teksam orke	
アイヨマレ クス ネ ナ」 a=i=omare kusu ne na."	助太刀しますよ」
セコロカイ ペ sekor okay pe	ということを
ウタイェカネ u ta ye kane	言い
ウ クルカシケ u kurkasike	ながら
ウ カンチ パゥ ペ u kanci pak pe	梶ほどの太刀を
シコエタイパ sikoetaypa	引き抜いた
イワヌタラパ iwan utarpa	6人の勇士
アナッキコロカ anakkikorka	ではあるが
ウ タモプシパ プ u tamopuspa p	(相手が硬くて) 刀を刺し
ウ オポプシパ プ u opopuspa p	槍で突くことも
ソモ ネ クス somo ne kusu	できないので

お前のそばに

エテクサム オロケ

イカウイネ(?) カムイ ikauyne(?) kamuy	XXX(?)神
カムイ ラメトゥ kamuy rametok	神なる勇者
ウタロロケへ utar orkehe	たち
ネワネヤッカ ne wa ne yakka	でも
アシヌマ ネノ asinuma neno	私と同じく
ウ カンニ アニ u kanni ani	棍棒でもって
ウ ピリカ カンニ u pirka kanni	立派な棍棒を
ウサ ウサ カラ ワ usa usa kar wa	いろいろ作って
ウ ヤイココロ ワ u yaykokor wa	自ら持って
エアシラナ easirana	それこそ
ウ アラウェン カムイ u arwen kamuy	極悪の神
ウタロロケへ utarorkehe	たちを

アキゥノ フミ a=kikno humi	ぶったたく音
アキッキゥ フミ a=kikkik humi	叩きに叩く音が
エアシラナ easirana	それこそ
カムイ ロルンペ kamuy rorunpe	神の戦争
ウネプネクス u ne p ne kusu	であるので
ウェン カムイ トゥミ wen kamuy tumi	悪神の戦争が
アコウペ エアシラナ akoupe… easirana	それこそ
ウェン カムイ トゥミ wen kamuy tumi	悪神の戦争が
アヤイコパシテ a=yaykopaste	寄せてくる (?)
ウキペネクス u ki pe ne kusu	ので
エポソカネ eposokane	当然のことながら
イトゥレン ピト ituren pito	私の憑き神は

エアシラナ easirana	それこそ
イルシカ カムイ iruska kamuy	怒った神(で)
ウタンポロト u tan poro to	この大きな沼
ウトクルカネ (?) u to kurka ne(?)	沼の上で(?)
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
コチェラナクル koceranakur-	下の方に(降りて)
ウ チャロトッケ u carototke	騒がしい。
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
リクン カント オロ rikun kanto or	低い天へ
ウ チェリキクル u cerikikur-	高く
ホプンパ カネ hopunpa kane	飛び上がって
キワネキコロ ki wa ne ki kor	そうすると

u ramram utur wa	
ホプニ カムイマウ hopuni kamuymaw	上がる神風が
マカナン キ コロ makanan ki kor	時によると
ウトクルカ タ u to kurka ta	沼の上に
ウサッ ラヨチ usat rayoci	燠の虹
シララ ラヨチ sirar rayoci	岩の虹が
ホラオチウパ horaociwpa	降り注いでくる。
タパン カムイマウ tapan kamuymaw	神風の
ウ ユプケ ヒケ u yupke hike	激しいものが
エアシラナ easirana	それこそ
ウタンポロト u tan poro to	この大きな沼の
ウトクルカ タ u to kurka ta	沼の上に

ウ ラムラム ウトゥル ワ 鱗の間から

ウ ウェン ペウプン u wen peupun	ひどい水しぶきが
ウエホプニ uehopuni	一斉に飛ぶ
セムコラチ semkoraci	かのように
コヤイカラ カネ koyaykar kane	なって
アコロ ロルンペ a=kor rorunpe	我々の戦いが
ウ ユプケ カシパ u yupke kaspa	はげしすぎる。
エアシラナ easirana	それこそ
イネロクペクシ inerokpekus	なんとまあ
レタン ニ アイヌ retar_ ni aynu	白木の人間
イワン ウタラパ iwan utarpa	六人の勇士が
シモイパ シリ simoypa siri	働く様子は
ケライ カムイ ネ keray kamuy ne	さすがに神である。

カムイ ラメトク kamuy rametok	神なる勇者
ウタロロケへ utar orkehe	たちは
アシヌマ アナゥ asinuma anak	私は
ウトノシキタ u to noski ta	沼の真ん中に
ウタラ コン ノイネ utar kor_ noyne	(サゥソモアイェプの)仲間がいるように
アラム ヒケ a=ramu hike	思っていると
ポロ ヌプリ poro nupuri	大きな山に
ウ シキ アウシテ u siki a=uste	目をつけて
ウパラク uparku…	
アウパラコレ (?) a=uparkore(?)	口をつけた
ウ セムコラチ u semkoraci	かのようなものに
ウ ヤイカラ ヒケ u yaykar hike	変身したやつと

アヤイコイキレ a=yaykoykire	私は戦った。
ノカン ノ ヒケ nokan no hike	小さい方の
カムイ メノコ kamuy menoko	神なる女は
レタン ニ アイヌ retar_ ni aynu	白木の人間
ウタロロケへ utarorkehe	たちと
ウ ヤイコイキレ u yaykoykire	戦った。
タヌシコトイ ワ tan h_uskotoy wa	長いこと
アキ プ ノ クニ a=ki p no kuni	そうしていた
ウキ コロカイキ u ki korkayki	けれど
アライケ ポカ a=rayke poka	殺すことさえ
ウ ヤイニウケシテ u yayniwkeste	できない。
イネロゥペクス inerokpekusu	なんとまあ(?)

katu ironne p	
ウネプネクスン u ne p ne kusun	であるので
ウ オプエオッケ u op'eotke	槍で突いて
カンニ エコッ ペ kanni ekot pe	棍棒で死ぬものでは
オアラ ソモ ネ oar somo ne	まったくないのだ。
アナッキコロカ anakkikorka	けれども
ウ ネノ アン ペ u neno an pe	同じように
アエウコトゥイマ a=eukotuyma-	長いこと
シアリキキ siarikiki	奮闘
ウキロクアイネ u ki rok ayne	したあげく
ウタシパ パクノ utaspa pakno	互いに
「カムイ ネ アン クル "kamuy ne an kur	「神なる人よ

体が厚いもの

カトゥ イロンネ プ

アシノモイモイケ a=sinomoymoyke	私たちは一生懸命
ウ ノモイモイケ u nomoymoyke	頑張り
アキ ナンコン ナ」 a=ki nankor_ na"	ますよ(?)」
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	ということを
レタン ニ アイヌ retar_ ni aynu	白木の人間
カムイ ウタラパ kamuy utarpa	神なる勇者
ウタラ オロケヘ utar orkehe	たちは
ウ ラムケシカチウ u ramkeskaciw	お互いに勇気づける
ウキプネクス u ki p ne kusu	ので
エアシラナ easirana	それこそ
ウ ペウレ フムセ u pewre humse	若いかけ声
アヤヨフムセ a=yayohumse-	かけ声を

u ciwre kane	
ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	いつまでも
ウ ネノ アン ペ u neno an pe	同じように
ウ カンニ フミ u kanni humi	棍棒の(ふるう)音
タパンペ パテゥ tapanpe patek	そればかりを
アヤイコカラカラ a=yaykokarkar	立て続けた
イキアナイネ iki=an ayne	あげく
ウ クンネ へネ u kunne hene	夜も
ウトカプ へネ u tokap hene	昼も
イキアン ロク アイネ iki=an rok ayne	そうし(て棍棒を振るっ)たあげく
タネ ネ クス tane ne kusu	今や
アウン アルイワ aun… aruywa…	

かけながら

ウ チウレ カネ

a=ronnu ruy pe	
ウ ネプ ネ クス u nep ne kusu	だから
モヨ ノ カネ moyo no kane	人数が少なくなって
ウ シクヌ ヒケ u siknu hike	生きているものは
アヤイピシキレ a=yaypiskire	数えられる
ウ セムコラチ u semkoraci	ほどになって
ウサ ウサ キ ワ usa usa ki wa	いろいろして
アキ ロク アイネ a=ki rok ayne	いたあげく
タネポ ソンノ tanepo sonno	今こそ本当に
ウェン カムイ トゥミ wen kamuy tumi	悪神の戦い
ウェン カムイ ウタラ wen kamuy utar	悪神たち
ウタロロケへ utarorkehe	たちを

私たちがずいぶん殺したもの

アロンヌ ルイ ペ

アオケレ パ コトム a=okere pa kotom	殺し終えたように
アネサンニヨ an=esanniyo	私は思った。
ウ パクノ ネコロ u pakno nekor	すると
カムイ メノコ kamuy menoko	神なる女が
エネ イタキ ene itak h_i	このように言った。
「エパコロ ユピ "ep a=kor yupi	「私の兄さんが
イコソンコアンパ i=kosonkoanpa	私に伝言した
ウキハウェヘ u ki hawehe	ことは
エネ オカ ヒ ene oka hi	こうなのです。
『カムイ ネ アン クル 'kamuy ne an kur	『神なる人の
ウ セレマク オロケ u sermak orke	背後を
カムイ オピッタ kamuy opitta	神々すべてが、

ヌカラ アナクネ nukar anakne	見ることは
エアイカプ ヤッカ eaykap yakka	できなくても、
カムイ オピッタ kamuy opitta	神々がすべて
セレマカウシ ワ sermakaus wa	守り神としてついていて
アオカ ネ ヤッカ aoka ne yakka	私たちも
アコロ コタヌ a=kor kotanu	私たちの村
アウタリポ a=utaripo	私たちの仲間たちが
イカスイ アイネ ikasuy ayne	手伝ううちに
タネポ ソンノ tanepo sonno	今こそ本当に
エアシラナ easirana	それこそ
コラムヌクルパ プ koramnukurpa p	恐ろしいもの
ウ アラウェン カムイ u arwen kamuy	極悪の神

ウタロロケへ utarorkehe	たち
ウネアコロカ u ne a korka	であったが
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神なる人
イネクスネ i ne kusu ne	であるから
カムイ オロ パクノ kamuy or pakno	神のところまで
ラメトク アスル rametok asur	勇敢なる噂が
チホプニレ プ cihopunire p	立つもの
ウネアクス u ne a kusu	だったから(退治できたので)
ホシピ キ コロ hosipi ki kor	帰るなら
エトコ ウン etoko un	その前に
サケ アカラ ワ sake a=kar wa	私は酒を造って
アテレ キ ワ a=tere ki wa	待って

アナン ルウェ ネ. an=an ruwe ne.	います。
イコオシニ ワ i=kosini wa	私のところで休んで
イコロパレ ヤン』 i=korpare yan'	ください』
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	ということを
ヤ イパ アコロ ユピ ya ipa a=kor yupi	私の兄の
ソンコホ エク ルウェ sonkoho ek ruwe	伝言が来たの
ネヒタパンナ。 ne hi tapan na.	ですよ。
タネポ ソンノ tanepo sonno	今こそ本当に
トゥ トゥムンチ オカ tu tumunci oka	戦争の後
ウェンカムイ トゥミ wenkamuy tumi	悪神の戦争

戦争が終わった

ということであれば

トゥミ エポシパ

アキワネコロ

a=ki wa ne kor

tumi epospa

i=resu yupi	
ウ イェ ア イタク カ u ye a itak ka	言ったことばについても
イコヌ キ ワ ikonu ki wa	聞いて
イコロパレ ヤン」 i=korpare yan"	ください」
ウ ハワシ アワ u hawas awa	という話だが
レタン ニ アイヌ retar_ ni aynu	白木の人間の
キヤンネ ヒケ kiyanne hike	年上のほうが
エネ イタキ ene itak h_i	こう言った。
「コニンカラ クス "koninkar kusu	「さてさて
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ、
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神なる人よ、
アオカ アナクネ aoka anakne	私は

私の育ての兄が

イレス ユピ

カムイ アネ クス kamuy a=ne kusu	神であるので
タパン テ ワノ tapan te wano	今から
カムイ ニシ カ ウン kamuy nis ka un	神の空の上へ
リキナン クニ プ rikin=an kuni p	上るべきもの
ウネルウェネ。 u ne ruwe ne.	なのだ。
クンネ ヌプリ kunne nupuri	黒い山の
エヌプル カムイ enupur kamuy	巫力が強い神
ウ コロ イレンカ u kor irenka	の了見に
イテキ タサ アシ ノ iteki tasa as no	さからわずに
コシニ ハニ kosini hani	休みなさいよ。
エク ワ ネ チキ e=ku wa ne ciki	(その) 酒宴に出たらば
アエイコイトゥパ プ a=eykoytupa p	私たちが欲しいものは

トノト ピリカ プ tonoto pirka p	よい酒
ウネルウェネ。 u ne ruwe ne.	であるのだ。
ウ ホシキ トゥキ u hoski tuki	先に杯と
イクパスイ アンパ ikupasuy anpa	捧酒箆をもって
アキ ワ ネ ヤク a=ki wa ne yak	そうしたら(捧げてくれたら)
カムイ ニシ カ タ kamuy nis ka ta	神の空の上に
オカアン ヤッカ oka=an yakka	私たちがいても
アエヤイカムイ a=eyaykamuy-	私たちの神格が
ウ ネレ クニ プ u nere kuni p	高くなるの
ネ ヒ タパン ナ」 ne hi tapan na"	ですよ」
セコロカイ ペ sekor okay pe	ということを
ウ タ イェ カネ u ta ye kane	言うと

rikun nis kotor	
エウェホプンパ ewehopunpa	へ一斉に飛んでいき
リキン マ イサム rikin w_a isam	上っていってしまった。
ウ パケノ ネコロ u pakno nekor	それから
クンネ コソンテ kunne kosonte	黒い小袖の
カムイ モイレマッ kamuy moyremat	神のような立派な女が
シキル ヒケ sikiru hike	振り向くと
セトゥル カシケ seturu kasike	すぐ後に
アヤイラリレ a=yayrarire	私は続いた。
テエタ カネ teeta kane	かつて
アアッカリ ペ a=akkari pe	私が通り過ぎたもの(である)
フレ ヌプリ hure nupuri	赤い山

高い天

リクン ニシ コトロ

ウネアクス u ne a kusu	なので
アアッカリ ワ a=akkari wa	通り越して
クンネ ヌプリ kunne nupuri	黒い山
ヌプリ タプカ nupuri tapka	山の上に
コヤイトゥナシカ koyaytunaska	向かって急いで
エパ アキ ルウェ epa a=ki ruwe	到着した様子は
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようだ。
イネロクペクス ine rok pe kusu	なんとまあ
ウタリ インネ プ utari inne p	仲間が多いもの
アパ カ インネ プ apa ka inne p	親戚が多いもの (だろうか)
ヌプリ クルカ nupuri kurka	山の上
ヌプリ クルポク nupuri kurpok	山の下に

ウ クンネ コタン u kunne kotan	黒い村に
タニンネ コタン tan inne kotan	人数の多い村が
チシレアヌ cisireanu	ある。
ウ パクノ ネコロ u pakno nekor	それから
クンネ チパヌプ kunne cipanup	黒い鉢巻の
カムイ メノコ kamuy menoko	神なる女が
ウ チャシ トゥヨロ u casi tuyor	城の中に
ウ アフン カネ u ahun kane	入って
イタッカラ ハウェ itakkar hawe	言うことは
「エパコロ ユピ "ep a=kor yupi	「私の兄が
ウ イェ ソンコ ネ クス u ye sonko ne kusu	言った伝言ですから
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神なる人よ、

イパコロ ユピ ip a=kor yupi	私の兄さんの
コシニ クス kosini kusu	ところで休むために
イトゥラ ワ サナン i=tura wa san=an	一緒に下りた
イ ネ クシナムネ i ne kusnamne	のですから
ウ コン ラメトゥ u kor_ rametok	その勇名は
カムイ オロ パクノ kamuy or pakno	神のところまで
エアスル easuru	噂が
	噂が 立っている
easuru ウ キ ロク クニ プ	W. C.
easuru ウキロククニプ u ki rok kuni p カムイ ラメトク	立っている
easuru ウキロククニプ u ki rok kuni p カムイ ラメトク kamuy rametok ウネアクス	立っている神なる勇者

ヌカレ キ ワ nukare ki wa	見せてもらって
アカスイ カネ a=kasuy kane	私が手伝って
レタン ニ アイヌ retar_ ni aynu	白木の人間
ウタロロケへ utarorkehe	たち (という)
イカオパシ ワ ikaopas wa	助けに来たものが
インネ アン クシケライ inne an kuskeray	大勢いるおかげで
ウ ニッネ カムイ u nitne kamuy	悪い神
	悪い神
u nitne kamuy ウタラ オロケヘ	
u nitne kamuy ウタラ オロケへ utar orkehe オピッタ アロンヌ	たちを
u nitne kamuy ウタラ オロケへ utar orkehe オピッタ アロンヌ opitta a=ronnu キ ワ ネ ヤクン	たちをみんな殺し

sitoma p anak	
イサム ナンコン ナ。 isam nankor_ na.	いなくなるだろうよ。
カムイ ネ ヤッカ kamuy ne yakka	神であっても
コマウヌクルパ プ komawnukurpa p	恐ろしくて近寄れないもの(である)
ウ アラウェン カムイ u arwen kamuy	極悪の神
サクソモアイェプ saksomoayep	サクソモアイェプ (という)
ウ ニッネ ヒケ u nitne hike	悪い奴
ウタラ オロケヘ utar orkehe	たちを
タネ アナクネ tane anakne	今は
オピッタ アロンヌ ワ opitta a=ronnu wa	すべて殺して
サパン ルウェ ネ ナ」 sap=an ruwe ne na."	私たちは下りてきたんですよ」
イタク ホントモ itak hontomo	(そう話す女の) 言葉の途中(で)

怖ろしいものは

シトマ プ アナク

アコアパマカ

戸を開けて

a=koapamaka

アフナン アワ

入ると

ahun=an awa

アシエトクサモロ

私の前方に

a=sietoksam or

はい。

(萱野:はい)

【注】

- [1] つまり、この6人の勇者はRepuysirunkurが木から作り出した、いわゆる tekekarkamuy 「手作りの神」なのである。
- [2] aci=<a=eci=「私がお前たちを」。千歳方言でよく使われる人称接辞の形だが、沙流方言でも時々用いられる。